

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ひまわりクラス 組	9 月 29 日 ( 月 )	二子ありさ

## ● 実施計画

活動テーマ	
世界の言葉ってどのくらいあるの？	
活動テーマに関する 日頃の興味関心について	
<p>クラスの中に中国籍、フィリピン籍の子がいる環境下で英語を習っている子もおり、世界には様々な言葉があるという認識を持っている子が多く見られる。何気ない日常会話の中で「あの人は英語人かな」という声があがり、「英語人って地球のどこの国かな」と子どもたちの興味が広がっていた。</p>	
活動スケジュール	
時間	内容
10:00～10:10	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表会で歌う曲の歌詞に英語があることをきっかけに活動をはじめた。</li> <li>知っている国の言葉があるか意見を出し合う。</li> <li>様々な国の挨拶が書いてある表を見て、その国がどこにあるのか世界地図や地球儀で探す。</li> </ul>
10:10～10:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>次回それぞれが気になった国を探求できるように自分が気になった国をスケッチブックに書き出す。</li> </ul> <p>【英語活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パパッと英語タブレットで英語の音やリズムに触れる。</li> <li>unit1 「hello, how are you」を歌う。</li> <li>パパッと英語の順番で進める。</li> <li>今日の活動を振り返る。</li> </ul>
環境設定 ・ 準備物	
<p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀、世界の国旗や簡単な図鑑</li> <li>座って話せるスペースを確保</li> <li>子どもが失敗を恐れず自由に試せるよう、温かく見守る雰囲気作り</li> <li>視覚的に英語や探究テーマに関するものを貼り、興味を引き出す</li> </ul> <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パパッと英語タブレット</li> <li>地球儀や世界地図</li> <li>アルファベット表</li> <li>英語の絵本</li> </ul>	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・地球儀や世界地図、印刷した資料を元に様々な国の言語について探求を深めた。</p> <p>・活動中に子どもから出た疑問に寄り添い、新たな探求に広がった。</p> <p>・得意なことを自信を持って友達や保育士に発信し、自己を発揮する。</p> <p>・活動時に読んだ英語の絵本を、活動後も読もうとする姿があり関心の高まっていた。</p>	<p>・知っている言葉を聞いている時に子ども達から「なんでこんなに国ってあるの?」「なんで日本語って日本だけなの?」と、根本的な国や言語の起原について興味を示す疑問の声が上がった。</p> <p>・「(イギリス国旗のついた国旗を見て)なんで同じ国旗がかいてあるの?」と疑問を持っていた。</p> <p>・英語を習っている子は自信を持って活動に参加する姿があった。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・英語を通じて「国はどうしてできたのかな」「みんなが住むためじゃない?」「なんで人は生まれたの?」と、次々に問いがうまれたり疑問に対する推測をみんなで考えようとする姿が見られ、自分たちで考えを深めようとする力が育まれていると感じた。</p> <p>・パパッと英語での歌を楽しむ姿があったため、次回は友達同士で会話のやり取りを経験する活動も取り入れていく。</p>	<p>子どもたちは、地球儀や世界地図を通して「世界の広がり」や「言葉の違い」に興味を持ち、英語活動をきっかけに「国はどうしてできたの?」「なんで日本語って日本だけなの?」といった本質的な疑問を持ち始めていたことが印象的だったと思います。単に英語を学ぶのではなく、そこから「世界の多様さ」や「人と人とのつながり」に思いを広げていく姿に、探究心の育ちが感じられました。</p> <p>また、英語を習っている子が自信をもって発信し、友だちがそれを認める姿も見られ、互いに刺激し合いながら学び合う環境が生まれていたと思います。保育者が子どもの疑問に丁寧に寄り添い、思考を深める方向に導いていたこともよい支援だったと思います。</p> <p>今後は、歌や絵本などの楽しさに加えて、友だち同士の簡単なやり取りや異文化との違いを感じられるような活動を取り入れると、子どもたちの学びがより実感を伴って広がると思います。</p>